

## 令和5年度 茨城県地域就職氷河期世代支援加速化事業 効果検証

### (1) 事業概要

就職氷河期世代の正社員化を促進するためには伴走型の支援が必要であることから、地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用し、茨城県が県内6カ所で設置・運営している「いばらき就職支援センター」において、専任の相談員を4名配置し、就職氷河期世代の求職者にキャリアカウンセリングや合同就職面接会などの就職支援サービスを提供することで、正社員就職を支援する。

### (2) 効果検証

#### ○交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）実績

指標名	令和5年度目標値	令和5年度実績
「いばらき就職支援センター」において就職支援を実施した氷河期世代の者※の正社員就職決定件数（件）	70人	74人

※概ね36～51歳の者。以下同。

#### ○取組について

- いばらき就職支援センター（全6か所）において、就職氷河期世代向けの相談窓口を設けて、相談対応を行った。

令和5年度実績	実利用者数	就職決定者数	うち、正社員就職
全体	2,980人	955人	192人
うち、氷河期世代	975人	299人	74人

- 就職氷河期世代等を対象とした合同就職面接会（別紙参照）を10回開催し、地元企業とのマッチングを行った。

実績	回数	参加企業数	参加者数	就職内定者数
令和5年度	10回	194社	302人	25人

#### ○取組効果について

- 令和5年度の雇用情勢は、物価高騰に起因する経済の先行き不透明感により、一部産業で採用選考には慎重な様子が見受けられた。
- 求職者の側では、利用実人数が令和4年より51名減の975名となったものの、延べ利用件数は958件増の6,847件となり、新型コロナの影響から脱して、就職意欲が高い様子が見受けられた。
- 実利用人数が減少した結果、就職実績は令和4年度より28人少ない299人となったが、利用者の就職意欲が高いため、正社員就職決定件数は、12名人の74人となった。

### (3) 公表について

本効果検証等を茨城県ホームページ上で公表する。